

水族博物館うみがたりの魅力向上



平成30年6月26日、大勢の皆さんから多大なるご支援をいただき、上越市の新たなシンボル「上越市立水族博物館うみがたり」がオープンしました。寄附金は、展示内容の充実や将来的な施設改修、マゼランペンギンの保全活動などに活用させていただきます！



寄附金の使途(例)

マゼランペンギンの保全活動の取組

うみがたりでは、日本最多となる100羽を超えるマゼランペンギンを飼育し、その愛らしい姿で多くのお客様を楽しませています。

その一方で、国内では飼育個体の高齢化や遺伝的多様性の維持が課題となっており、マゼランペンギンの故郷の南米大陸南大西洋沿岸でも、気象や海洋環境の変化による個体数の減少が懸念されています。



このため、上越市では、マゼランペンギンの生態を見守り、保全活動の輪を広げることを目的に、平成30年2月にマゼランペンギンの世界最大の繁殖地であるプンタ・トンボを管理するアルゼンチン共和国チュブ州と国際協定を締結しました。

本事業では、国際的な連携のもと、マゼランペンギンの研究及び保全活動、飼育繁殖に関する情報・技術の交換にも取り組んでいます。